

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

＜場の内容・ねらい＞

＜児童の意識＞

＜指導・援助＞

【学級活動】（6月）
「係活動の見直し」
 ・4月から取り組んできた中で、学級目標や係活動の目標についての実現状況を振り返り、今後の方向について話し合うことができる。
 ・係活動等、仲間と自主的・自発的に取り組むことで目標を実現する具体的な姿はどうであったかを話し合うことができる。

【日常の活動】
○係活動・委員会活動
 ・「学級・学年をさらによくしたい」という願いをもって、自分の仕事に継続して取り組むことができる。

・最高学年だから、全校のリーダーとして頑張っていていきたい。
 ・学級目標に向かって、みんなと一緒に努力することを忘れていた。目標をもち、みんなと力を合わせていくことが大切だ。

・学校や学級のリーダーとして、自主的・自発的に行動し、最後までやりとげた喜びを交流し、活動に対する意欲を高める。

体育（6月～7月）
「水泳」
 ・クロールや平泳ぎで続けて長く泳ぐことができる。
 ・自分の目標をやりとげることができる。

○帰りの会
 ・仲間の気持ちを考え、希望をもって取組を充実させている児童を位置付け、充実感や満足感を感得する。

・今年は、自分の苦手な泳法にも意欲的に取り組もう。そのために、頑張ってお練習する。
 ・仲間の助言を聞いてこつをつかんで、できるようになるまで頑張る。

・個人カードを作成し、毎時間の達成が分かるようにする。また、目標が達成できるように助言する。
 ・あきらめずに最後まで取り組む姿を価値付ける。

道徳の時間（7月）
「灯を持つ乙女—山本 芳翠」
内容項目 1-(2)
 ・思い通りにいかななくても、くじけずに目標に向かって努力し続けることの大切さに気付き、粘り強く最後までやり抜こうとする心情を育てる。

・自分が立てた目標が達成できないと、すぐにあきらめてしまう。
 ・目標に向かって最後まで努力し続けると気持ちがいいことが分かった。

・誰にでも途中であきらめなくなる弱さはあるが、そんな自分を見つめ直し、目標に向かって努力し続け、最後までやり抜くことの大切さに気付かせる。

学級活動（7月）
「夏休みの計画を立てよう」
 ・昨年度の夏休みの反省を生かし、継続して取り組むことができる夏休みの計画を立てることができる。

○家庭学習
 ・毎日こつこつと家庭学習に取り組むことができる。

・いよいよ夏休み。自分が立てた計画をしっかりと守れるようにしよう。
 ・小学校生活最後の夏休みだから、最後までやりきれるように頑張る。

・無理な計画にならないように助言する。
 ・夏休みの計画を保護者とともに考えるようにし、家庭でも継続して取り組むことができるよう助言していただくように働きかける。

